



外耳道真菌症



清掃後

点耳薬、抗真菌剤を塗る治療を行います。それを何度か繰り返すことで、大抵の外耳炎や外耳道真菌症は良くなります。しかし中には慢性湿疹の状態になり、何ヶ月も治療を継続しなければいけないことがあります。かゆみの防止のために、抗ヒスタミン剤や抗アレルギー薬の内服や軟膏を使うことで、できるだけ耳をいじらないで済ませるようにすることも必要です。

### 耳垢栓塞 (じこうせんそく)

耳あかが外耳道を完全にふさいでしまったものを耳垢栓塞といい、難聴・耳の閉塞感・耳鳴りが起きます。入浴や水泳の後に、外耳道に水が入って耳あかがふやけ、外耳道を圧迫して痛みやめまいを生じることもあります。

普通の耳あかは自浄作用によって、自然に外耳道の入り口の方へ排出されるようにできていますが、外耳炎や外耳道の湿疹があったり、体質的な湿性耳垢の人や、高齢者で外耳道皮膚の新陳代謝に問題がある場合は、耳垢栓塞になりやすいと考えられています。

耳垢栓塞は定期的に耳を清拭すること

で予防できるので、湿性耳垢の人やアトピー性皮膚炎のある人、耳あかが溜まりやすいと感じる人などは、自分で無理をせず耳鼻咽喉科で必要に応じて処置をしてもらうのがいいでしょう。詰まった耳あかを自分でとろうとすると、かえって奥に押しこんでしまうことがあります。

### 鼓膜穿孔 (こまくせんこう)

鼓膜穿孔とは、耳掃除をしているとき急に子どもに抱きつかれたりして、鼓膜に穴が開いてしまうことです。鼓膜に穿孔ができるとまずその瞬間に激痛を覚えます。そして、その直後より難聴、耳鳴り、耳閉感などの耳症状と出血などが起こります。しかし鼓膜は皮膚なので、小さな穴なら2~3週間で自然に閉鎖します。自然に閉鎖しない場合や大きな穴が開いた場合は鼓膜形成手術がおこなわれますが、特に後遺症もなく閉鎖する場合はほとんどです。鼓膜穿孔を起こしたあと、耳に水が入ったりして感染すると、耳だれが出たり痛みが強くなったりして中耳炎になることがあるので、注意しながら経過をみていきます。